

10：付近図

既存事業所での利用希望の増加に応えるためであれば定員増加でも対応できると思われる。新規事業所を開設することとした理由を説明してください。

現状の施設規模では手狭になり一定の広さを確保する為。また、本人及び保護者の希望を優先した上で、児童の特性にあった就労面に関わる支援の取り組みを考えており、将来的には事業所を分けてサービス提供を行いたいと考えている。

12：事業計画

スタッフの資質や経歴によって事業所の理念や方向性が明確になると考えるが、現時点で従業員が確定していない。現状ではどのような理念を持って開所・運営していく予定なのか示してください。

当初より記載をしていますが、理念は、「1人ひとりが将来、いきいきと過ごせるように自立支援を行う」です。よって、開設をする際には、既に「理念」を持った福山新涯で経験のある人間を配置するよう考えています。また、開設により新たに採用した従業員にも福山新涯にて現地研修を行います。

13：利用者の処遇

これまで既存の「ウイズ福山新涯」を運営してきた実績を踏まえ、新規事業所では、どのような療育を展開していくこととしているのか具体的に示してください。

学齢期毎に分けてサービス提供を行いたいと考えている。

これまでは、低学年の児童が多く、人との関わり方や接し方を中心に行ってきましたが、開設をして3年が経過し、低学年から高学年、中学生と利用児童の年齢幅が広がってきました。引き続き「人間関係」に関する支援を継続するとともに、高学年～中高生の児童には将来を見据えた「就労面」でのPC作業や代表が鍼灸師の資格やドローン研修を終了している為、興味をもつ児童などには積極的にレクチャーをしたいと考えています。一方、2事業所間の距離は遠くないものの、ご家庭のご要望も踏まえて利用する事業所は柔軟に対応したいと考えている。